

2020 年第 2 期安息日学校聖書研究ガイドに以下の誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

【聖書研究ガイド】

第 2 課 日曜日 4 月 5 日 12 ページ、問 1 の 2 行目

(誤) パウロ

(正) ペトロ

【第 4 課の暗唱聖句の不備に関して】

今週の暗唱聖句は口語訳・新共同訳のどちらの訳も、
ガイド筆者が選んだ聖句の意味を反映していないものでした。

筆者が選んでいる聖句の意味を反映している訳は
最新の日本語訳聖書「聖書協会共同訳」「新改訳 2017」でした

〈新改訳 2017〉

イザヤ 8:20 ただ、 みおしえと証しに尋ねなければならない。もし、このことばにしたがって語らないなら、その人に夜明けはない。

〈聖書協会共同訳〉

イザヤ 8:20 教えと証しの書にこそ尋ねよ。この言葉にしたがって語らなければ、夜明けは訪れない。

もとのヘブル語が異なる訳の可能性を持っていることにも原因がありますが、なぜこのように異なる翻訳の問題が今週の暗唱聖句（イザヤ 8 章 20 節）に起きているのかについて、更に詳しく知りたい方は三育学院神学科教授 里内先生の解説をご覧ください。

第 10 課 金曜日 6 月 5 日 73 ページ、話し合いのための質問①の 1 行目

(誤) 水曜日の研究の最後で問われている質問に具体的に答えましょう。確かに、……

(正) 確かに、……

※確かにの前の文章を削除します。水曜日の最後の質問は「確かに……」に続く内容と重複しているため省略されています。

第 11 課 74 ページ、新共同訳の暗唱聖句

（誤）彼は言った、「二千三百の夕と朝の間である。そして聖所は清められてその正しい状態に復する」。（ダニエル 8：14、新共同訳）

（正）彼は続けた。「日が暮れ、夜の明けること二千三百回に及んで、聖所はあるべき状態に戻る。」（ダニエル 8：14、新共同訳）